

20181026 NMR 寺前二丁目撤去管錆成分検査持ち込み

【概要】

	検体位置	布設年度	錆採取位置
①	上流側	S61	エルボ(φ50)
②	下流側	S58	ソケット(φ50)
③	上流側(参考)	S58	コック(φ50)

計 3 検体

成分検査依頼先：経済局工業技術支援センター

検査内容：X線回折装置による定性分析

NMR 装置設置日：平成 29 年 3 月 8 日

NMR 装置撤去日：平成 30 年 10 月 9 日

管撤去日：平成 30 年 10 月 16 日

設置期間：約 1 年半

【写真】

<①上流側撤去管>



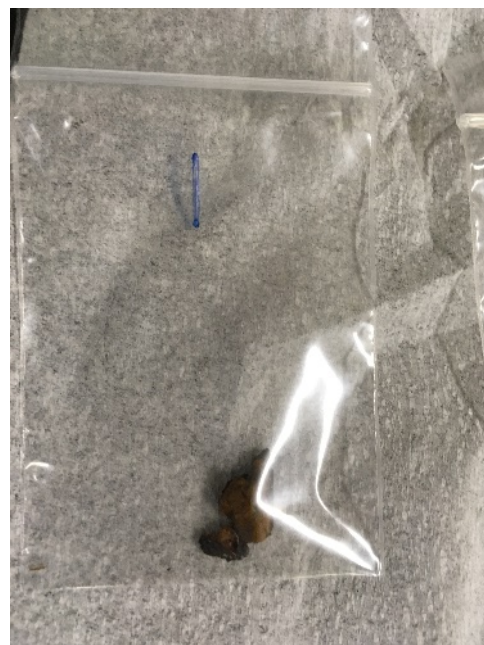
①上流側撤去管



内面状況



内面状況拡大



①上流側検体(錆)採取状況

①上流側撤去管

接続部分に赤錆が多少発生しているが閉塞等はなし  
管内面、管体は健全な状態。

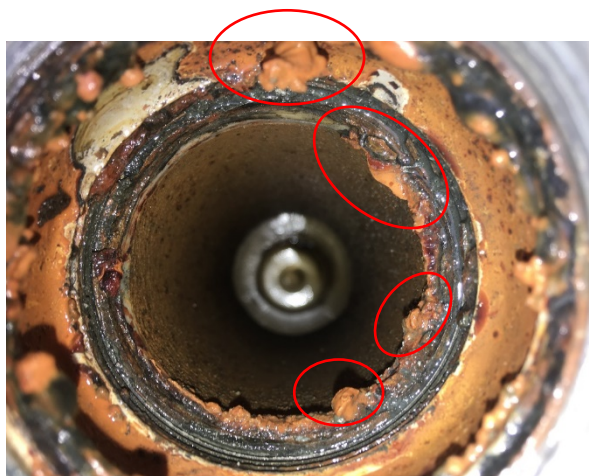
<②下流側撤去管>



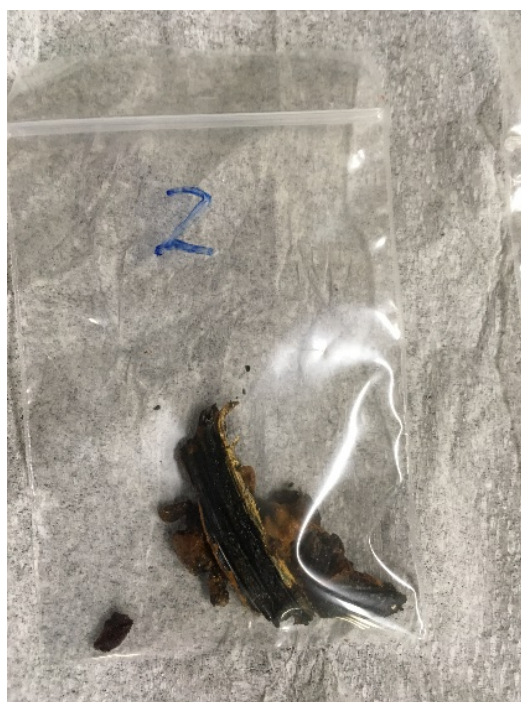
②下流側撤去管



内面状況



内面状況拡大



②下流側検体（錆）採取状況

②下流側撤去管

上流側同様、接続部分に赤錆が多少発生しているが閉塞等はなし。管内面は健全な状態。  
目視では上流側との違いはみられない



<③上流側グランドコック（参考）>



③上流側グランドコック管内状況

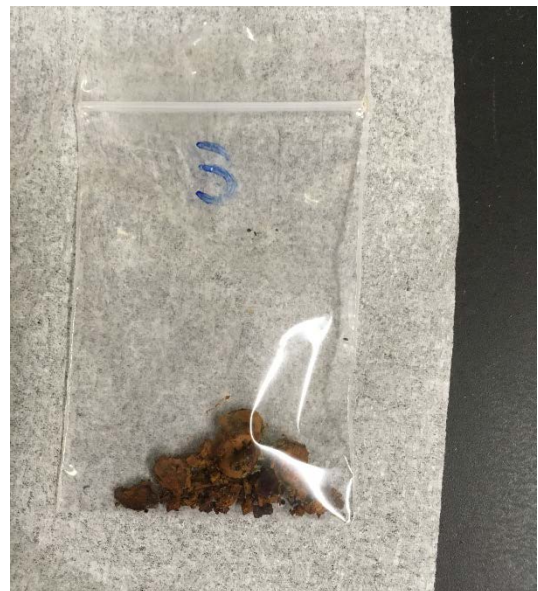


③上流側グランドコック管内状況

③上流側グランドコック（参考）

上流側同様、接続部分に赤錆が多少発生しているが閉塞等はなし。管内面は健全な状態。  
目視では上流側との違いはみられない

※ 上流側グランドコック部分は、Mアダプターが取付られなかったため、充水・封入しておらず、ポリスリーブを巻いただけの保管状況だったため、参考として成分検査を依頼。



③上流側グランドコック検体（錆）採取状況

<検体（錆）採取状況>



- ①上流側撤去管
- ②下流側撤去管
- ③上流側グランドコック

採取した錆をX線回折装置による定性分析を行い、成分を確認、上流側と下流側を比較します。